

世界銀行によるアゼルバイジャンの国有企業分析

世界銀行がアゼルバイジャン経済の分析レポート内で国有企業分析を掲載しておりましたので、概要を以下に紹介致します。

- 1 アゼルバイジャンには、大小を含め推定 5,000 の国営企業が存在しています。これらの国営企業が活動している産業は、製造、建設、電気、通信、農業など多岐にわたります。
- 2 国営企業ポートフォリオについては、石油及び天然ガス部門がその大半を占めています。その他の産業における国有企業は、国家予算から相当額の資金注入を受けながら経営されており、また、利益計上出来ている企業はそれほど多くありません。
- 3 これまでの補助金を含む資本注入の総額は 27 億 8000 万 AZN (16 億 3000 万米ドル)を記録し、年間支出予算の規模(2019年実績)と比較すると約 12%の規模となります。
- 4 詳細については、下記レポートの第3章(P120～P141)を参照ください。また、別添1で同レポートの主要グラフを記載しておりますのご覧下さい。
<https://documents1.worldbank.org/curated/en/099100009222236784/pdf/P17532606988e2056084e603c9c48ddc618.pdf>

また、以下リンクの当館作成経済トピック及び別添2で、アゼルバイジャン政府による国有企業向け施策も紹介しております。

「アゼルバイジャン投資ホールディング」の設立(2021 年 1 月 18 日):

<https://www.az.emb-japan.go.jp/files/100207356.pdf>

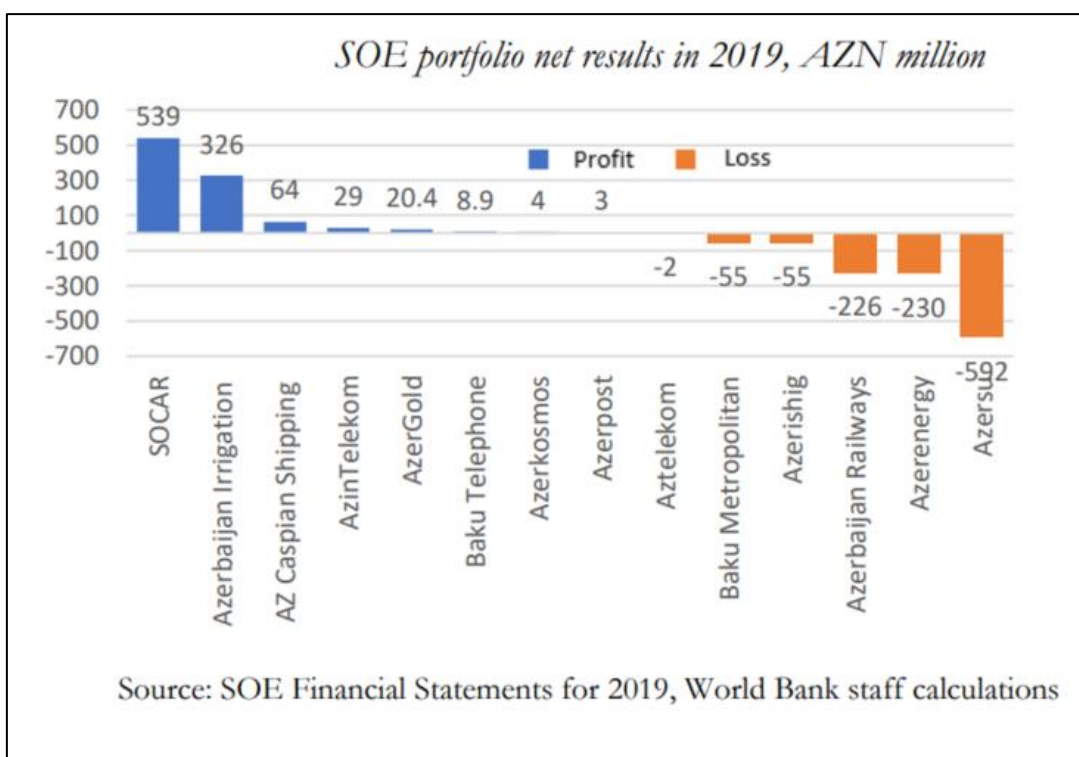
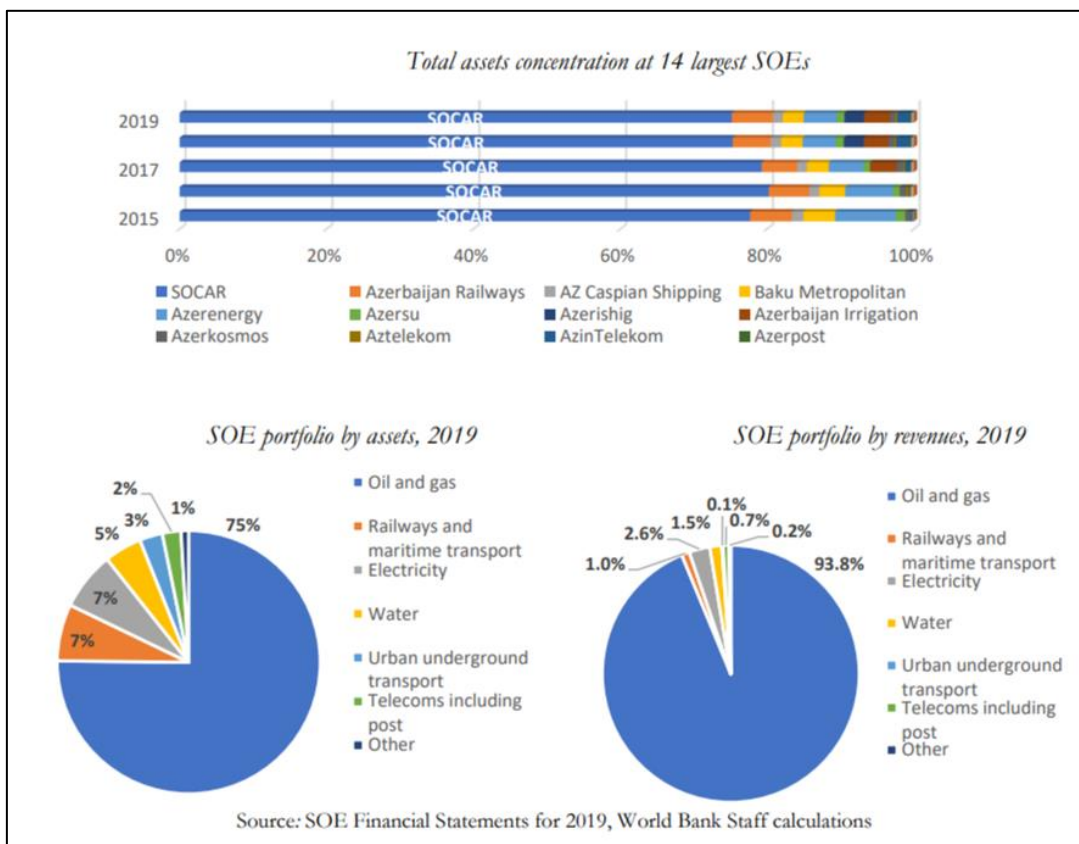
アゼルバイジャン投資ホールディング(第 2 報)(2021 年 3 月 9 日):

<https://www.az.emb-japan.go.jp/files/100217775.pdf>

アゼルバイジャン投資ホールディング(第 3 報)(2021 年 7 月 29 日):

<https://www.az.emb-japan.go.jp/files/100217774.pdf>

【別添1】



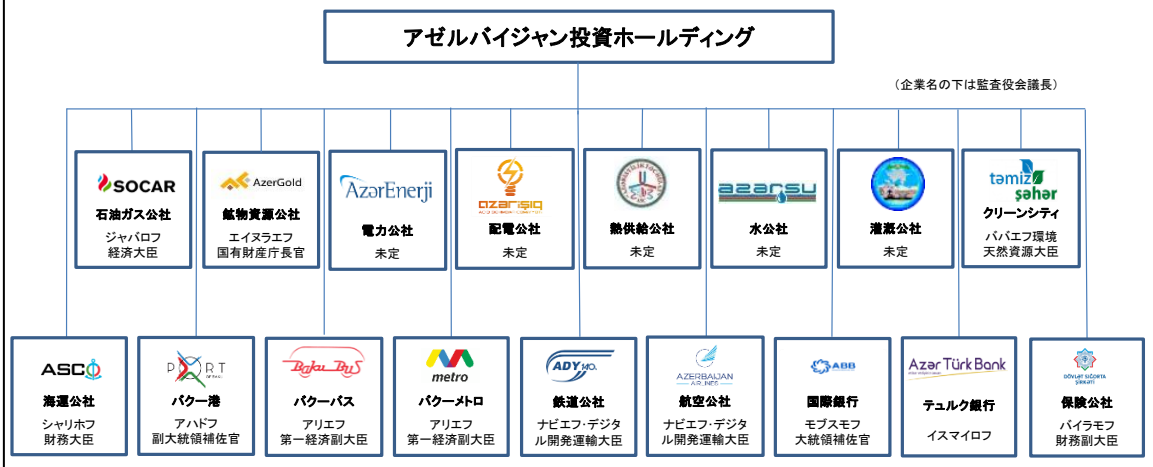
【別添2】

国有企業改革 ～主要企業は政府直轄に～

- 2020年、政府はかねてより懸案であった、主要国有企業の抜本改革を断行
 - 主要17社を、政府保有投資会社(アゼルバイジャン投資ホールディング)の傘下に
 - 各社経営陣(社長)の上に「監査役会」を設置(議長は関係閣僚・大統領補佐官等)



- 国有企業のガバナンス・経営効率改善、政府の経済政策に即した事業遂行体制の確立



(以上)